

平成30年度 事業計画

公益財団法人野木町施設振興事業団

1 基本方針

平成29年度に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の規定に基づき、栃木県県民生活部県民文化課による立入検査が行われ、公益性を重視し、目的に沿った健全な法人運営されていることが確認されました。

しかし、この結果に甘んじることなく、指定管理が最終年度ということを踏まえ、着実に短期間で目標を達成し、町民に信頼される指定管理者として成果が得られるよう事業に取り組んでまいります。

そのためにも、ご利用いただいたみなさまの声に耳を傾け、エニスホールの特徴と蓄積されたノウハウを活かした質の高い事業を目指して、文化の香りを絶やさないう計画してまいります。

また、開館以来20年以上経過しており、建物や備品の老朽化に対して計画的に更新を行いながら維持管理に努めるとともに、多様化するニーズに対応するために、講習会や研修に積極的に参加して専門的な知識や技術を習得し、ハードとソフトの両面で利用者の方々に満足いただけるよう取り組んでまいります。

2 公益目的事業

“楽しく観る・聴く・参加する”を基本コンセプトに、町民に親しまれるよう鑑賞型・参加型・普及型のバランスがとれた、公益性の高い事業を計画いたします。

また、“一度はエニスホールへ行こう”を合言葉に、事業の「良さ」を幅広い世代に知っていただき、楽しんでもらえるように情報発信を積極的に行い、安全、安心で魅力あふれるエニスホールをPRしてまいります。

(1) 主催公演事業

文化振興を目的とした人気のある継続事業を柱とし、新規事業の選定にあたっては企画選定委員会やアンケートを通して聞こえてくる町民の声に耳を傾け、ジャンルや対象世代に偏りが生じないように、公益財団法人としての存在感をしっかりとアピールできるように内容を精査いたします。

(2) 参加体験活動事業

①落語ワークショップ

本格的な落語にチャレンジする姿を見たお客様から好評をいただいております。より質を上げるために指導方法や内容の更新を図ってまいります。

また、事業PRを積極的に行い、集客力を上げるために地域との交流や連携を模索してまいります。

②ピアノトライアル

エニスホールの代名詞となっている3台のピアノを使用した、開館以来最も定着した看板事業の一つになっております。

収益面での問題は、現在のところ参加者のご理解を得て、以前に比べ改善しており、今後も参加者のご意見等を踏まえながらより良い事業になるよう検討いたします。

③展示会

写真や絵画の展示会は、野木町内や近隣市町にも同様の事業が多くあるため、作品が集まりにくく偏りも見られます。

そこで、町や各種団体との連携や協力を得て現事業の新たな展開を模索することや、野木町にゆかりのある講師を迎えて、ワークショップを含めた展示会を新設するなど課題克服を図ってまいります。

(3) 地域文化芸術振興及び交流促進事業

①学生音楽祭

学校、生徒、保護者、楽団の協力もあり、一体感のある圧巻のステージをより楽しんでもらえるよう、本年度は演奏レベルの向上を目標として、プロの演奏家の指導に重点を置いたアウトリーチを開催し、質の高い演奏を目指してまいります。

今後も、生徒や保護者の意向を踏まえ、地元演奏家やさまざまなアーティストとの共演など充実した内容になるよう検討してまいります。

②映画会

親子で楽しめる作品を中心に、エニスホールをより身近に感じてもらえるような事業として継続してまいります。

また、無料ということで、小さいお子様の映画デビューや、育成会、団体の行事として、気軽に幅広く活用していただいております。

③バックヤードツアー

スタッフの案内で普段は見られないエニスホールの裏側を見学しながら、ホールの役割やスタッフの業務内容に理解を深めてもらえるツアーになるよう工夫してまいります。

また、学生音楽祭や映画会など、ほかの事業と併せて開催することで参加しやすくなっております。

(4) 共催事業・助成事業など

共催事業の実施や公官庁関係の公演開催に向けての情報収集に努め、会館の特徴や実績を積極的にアピールし、町の協力を得ながら魅力あるアプローチを行ってまいります。

(5) 会館施設貸与事業（公益目的）

新しい機器を導入することで、トラブルの少ない安定したサービスが提供できるように、舞台設備や備品の更新を計画的に行い行ってまいります。

また、今後も施設利用の促進を図るため、施設の美化を最大のサービスと位置づけて管理に努め、リピーターの確保と新規利用者が一人でも増えるよう、積極的にPRを行ってまいります。

3 収益事業等

(1) 会館施設貸与事業（公益目的以外）

施設の利用を促進するため、公益目的事業と同様に管理を徹底して、利用しやすい施設の維持を図ってまいります。

(2) 収益事業

手数料などの収益増加のために、他会館で行われる有料コンサートチケットの販売も積極的に受託し収益の増加を図ってまいります。

また、新たに導入された自動販売機のPRを行い、販売促進と財源確保に努めてまいります。

4 PR事業の展開

インターネットの普及により情報発信の方法が偏り始めておりますが、すべての人が同じ条件ではないため、様々な手段を使いPRしてまいります。

(1) エニスホールイベント情報

催し物やスケジュールの案内だけでなく、開催された事業の感想や意見を掲載し、文化の魅力を伝えられるように工夫してまいります。

また、財源の確保を目的とした広告を積極的に募集し、掲載のメリットを感じてもらえるようにPRに努めてまいります。

(2) 町広報・メディア媒体の利用

新聞、ラジオなど有料メディアのCMだけでなく、「広報のぎ」や協定を結んでいる近隣市町の広報紙、無料で掲載可能な新聞、雑誌、タウン誌などを積極的に利用し、各方面へ継続的に情報提供を行ってまいります。

(3) ポスター・チラシの掲示

長年にわたり、町内や近隣の施設にご協力をいただき、定着している反面、新たに掲示の依頼ができる店舗等が見込めない状況にあります。

まずは現状維持を念頭に、メリットを感じてもらえるよう主催公演事業への招待や相互掲示など柔軟な対応を検討しサポートしてまいります。

(4) インターネットの活用

情報収集の手段として、インターネットが主流になっているため、重要な発信ツールと捉え、生きた情報を常に提供できるようにいたします。

また、リニューアルにより、きれいで見やすくなったホームページを幅広く活用してまいります。

(5) プレイガイドの充実とサポート

プレイガイドが減少しつつあるなか、ご協力いただける店舗が見込めないため、新たな販売手段を模索しなければならないのが現状です。

しかし、この状況においてもお客様のニーズに合ったチケット販売ができるよう情報の共有化を図り、販売の促進をサポートしてまいります。

平成30年度収支(損益)予算書総括表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	3,000	0	0	3,000	3,000	0
事業収益	17,524,872	1,151,128	0	18,676,000	20,042,000	△ 1,366,000
受取補助金等	90,031,532	10,551,970	12,045,498	112,629,000	109,046,000	3,583,000
雑収益	770	427,050	1,180	429,000	723,000	△ 294,000
経常収益計	107,560,174	12,130,148	12,046,678	131,737,000	129,814,000	1,923,000
(2) 経常費用						
事業費	108,542,582	8,997,164	0	117,539,746	115,766,044	1,773,702
人件費(給与・福利等)	40,372,400	2,691,556	0	43,063,956	41,969,133	1,094,823
物件費(人件費以外)	68,170,182	6,305,608	0	74,475,790	73,796,911	678,879
管理費	0	0	14,517,182	14,517,182	14,385,076	132,106
人件費(給与・福利等)	0	0	9,795,044	9,795,044	9,611,867	183,177
物件費(人件費以外)	0	0	4,722,138	4,722,138	4,773,209	△ 51,071
経常費用計	108,542,582	8,997,164	14,517,182	132,056,928	130,151,120	1,905,808
当期経常増減額	△ 982,408	3,132,984	△ 2,470,504	△ 319,928	△ 337,120	17,192
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 982,408	3,132,984	△ 2,470,504	△ 319,928	△ 337,120	17,192
一般正味財産期首残高	10,721,498	8,157,918	8,785,785	27,665,201	28,002,321	△ 337,120
一般正味財産期末残高	9,739,090	11,290,902	6,315,281	27,345,273	27,665,201	△ 319,928
II. 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III. 正味財産期末残高	9,739,090	11,290,902	6,315,281	27,345,273	27,665,201	△ 319,928

平成30年度

公益財団法人野木町施設振興事業団

収支予算書内訳表
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引控除	合 計
	公1	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	3,000	3,000	0	0	0	0	3,000
基本財産受取利息	3,000	3,000	0	0	0	0	3,000
事業収益	17,524,872	17,524,872	1,151,128	1,151,128	0	0	18,676,000
自主事業収益	7,500,000	7,500,000	0	0	0	0	7,500,000
貸館事業収益	10,024,872	10,024,872	1,151,128	1,151,128	0	0	11,176,000
受取補助金等	90,031,532	90,031,532	10,551,970	10,551,970	12,045,498	0	112,629,000
町指定管理料	68,206,568	68,206,568	8,374,284	8,374,284	8,398,148	0	84,979,000
町管理運営受託収益	21,824,964	21,824,964	2,177,686	2,177,686	3,647,350	0	27,650,000
雑収益	770	770	427,050	427,050	1,180	0	429,000
受取利息	770	770	50	50	180	0	1,000
雑収益	0	0	427,000	427,000	1,000	0	428,000
経常収益計	107,560,174	107,560,174	12,130,148	12,130,148	12,046,678	0	131,737,000
(2) 経常費用							
事業費	108,542,582	108,542,582	8,997,164	8,997,164		0	117,539,746
給料手当	31,991,205	31,991,205	2,130,501	2,130,501			34,121,706
賞与引当金繰入	2,420,195	2,420,195	163,555	163,555			2,583,750
臨時雇賃金	939,000	939,000	0	0			939,000
退職給付費用	0	0	0	0			0
福利厚生費	5,961,000	5,961,000	397,500	397,500			6,358,500
旅費交通費	24,000	24,000	0	0			24,000
通信運搬費	789,571	789,571	27,587	27,587			817,158
消耗品費	1,103,710	1,103,710	46,150	46,150			1,149,860
車輛運搬具減価償却費	0	0	0	0			0
什器備品減価償却費	291,817	291,817	21,131	21,131			312,948
修繕費	4,174,886	4,174,886	663,077	663,077			4,837,963
印刷製本費	1,223,000	1,223,000	0	0			1,223,000
食糧費	33,000	33,000	0	0			33,000
燃料費	878,376	878,376	129,008	129,008			1,007,384
光熱水費	9,436,549	9,436,549	1,505,976	1,505,976			10,942,525
著作権等使用料	300,000	300,000	0	0			300,000
行政財産使用料	0	0	233,067	233,067			233,067
賃借料	1,826,144	1,826,144	103,054	103,054			1,929,198
支払手数料	510,440	510,440	0	0			510,440
保険料	487,268	487,268	54,692	54,692			541,960
什器備品費	88,550	88,550	5,750	5,750			94,300
租税公課	3,612,460	3,612,460	229,900	229,900			3,842,360
支払負担金	1,726,500	1,726,500	108,000	108,000			1,834,500
委託料	40,723,911	40,723,911	3,178,216	3,178,216			43,902,127
雑費	1,000	1,000	0	0			1,000
管理費					14,517,182	0	14,517,182
役員報酬					683,000		683,000
給料手当					7,351,300		7,351,300
賞与引当金繰入					490,244		490,244
退職給付費用					0		0
福利厚生費					1,270,500		1,270,500
会議費					10,000		10,000
旅費交通費					25,000		25,000
通信運搬費					99,313		99,313
消耗品費					166,140		166,140
車輛運搬具減価償却費					0		0
什器備品減価償却費					6,980		6,980
修繕費					234,037		234,037
燃料費					61,616		61,616
光熱水費					497,475		497,475
賃借料					370,995		370,995

平成30年度

公益財団法人野木町施設振興事業団

収 支 予 算 書 内 訳 表
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引控除	合 計
	公1	小計	取1	小計			
支払手数料					97,722		97,722
保険料					67,147		67,147
什器備品費					20,700		20,700
交際費					10,000		10,000
租税公課					1,044,640		1,044,640
支払負担金					550,500		550,500
委託料					1,458,873		1,458,873
雑費					1,000		1,000
経常費用計	108,542,582	108,542,582	8,997,164	8,997,164	14,517,182	0	132,056,928
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 982,408	△ 982,408	3,132,984	3,132,984	△ 2,470,504	0	△ 319,928
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 982,408	△ 982,408	3,132,984	3,132,984	△ 2,470,504	0	△ 319,928
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額		0			0		0
当期一般正味財産増減額	△ 982,408	△ 982,408	3,132,984	3,132,984	△ 2,470,504	0	△ 319,928
一般正味財産期首残高	10,721,498	10,721,498	8,157,918	8,157,918	8,785,785	0	27,665,201
一般正味財産期末残高	9,739,090	9,739,090	11,290,902	11,290,902	6,315,281	0	27,345,273
II 指定正味財産増減の部		0			0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	9,739,090	9,739,090	11,290,902	11,290,902	6,315,281	0	27,345,273